

出資団体の概要(出資団体経営評価・診断表 様式①)

【共通】

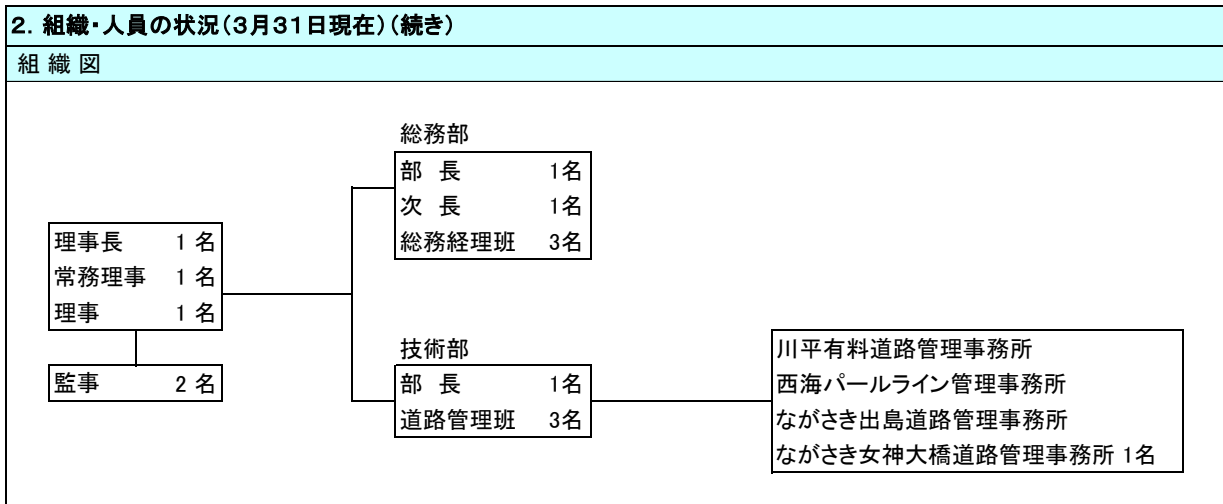
直近の決算日:

令和 2 年 3 月 31 日

1. 団体の概要				
団体名	(特)	長崎県道路公社	設立目的、経緯及び根拠法	
設立年月日	昭和52年2月1日		長崎県の区域及びその周辺の地域において、その通行又は利用について料金を徴収することができる道路の新設、改築、維持、修繕その他の管理を総合的かつ効率的に行うこと等により、この地域の地方的な幹線道路の整備を促進して交通の円滑化を図り、もって住民の福祉の増進と産業経済の発展に寄与することを目的とする。 平戸大橋有料道路が、建設途中の昭和50年4月に主要地方道平戸田平線から国道383号に昇格したため、県での有料道路の維持管理が制度上できなくなることから、今後、有料道路の建設、維持管理及び料金徴収については地方道路公社で行うこととし、平戸大橋有料道路の供用開始前の昭和52年2月1日に長崎県道路公社が設立された。 道路整備特別措置法・地方道路公社法。	
所在地等	〒 850-0035			
	長崎市元船町17番1号			
	TEL	(095)823-2600		
	Fax	(095)827-3463		
	E-Mail	honsya@nagasaki-dourokousha.or.jp		
県所管課	土木部	道路建設課	定款等に定める事業	
資本金・ 基本金等の額 (千円)	主な出資者	出資額(千円)	比率(%)	有料道路(高速道除く)の新設、改築、維持、修繕、その他の管理、有料駐車場の建設・管理。
	長崎県	6,895,000	100.00	
			0.00	
			0.00	
			0.00	
	その他		0.00	
	総額	6,895,000	100.00	
ホームページURL	http://www.nagasaki-dourokousha.or.jp/			

2. 組織・人員の状況(3月31日現在)

役員 (名)	区分	H29	H30	R1	プロパー	派遣県職員	兼務県職員	県OB	他自治体	民間	その他	
	常勤	2	2	2		2						
非常勤	3	3	3							3		
合計	5	5	5	0	2	0	0	0	0	3	0	
職員 (名)	H29	H30	R1	正規雇用 うち県OB	派遣 県職員	兼務 県職員	非正規雇用 うち県OB	他自治体	民間	その他		
	10	10	10	3	3		4					
1人当たり人件費(年度推移)		H29		H30		R1		平均年齢	賞与月数			
常勤役員報酬年額(千円)		2,984		2,982		3,037		58 歳				
プロパー平均給料月額(千円)		362		368		370		51 歳	4.0 月			
1人当たり人件費(R1、年代別)		20代以下		30代		40代		50代		60代以上		
プロパー平均給料月額(千円)						*		373				
各年代別プロパー数(名)						1		2				
県からの常勤又は非常勤役員	県の役職				団体での役職				区分			
	土木部政策監				理事長				常勤			
	土木部課長				常務理事				常勤			
上記役員以外の顧問等												
県派遣又は兼務職員	土木部参事				総務部長				派遣			
	土木部課長補佐				総務部次長				派遣			
	土木部道路建設課課長補佐				技術部長				派遣			



**3. 県財政負担の状況(千円)**

〈当年度受入額〉		〈当年度末残高〉	
補助金		貸付金残高	
負担金	1,016	損失補償・債務保証残高	447,127
委託料	33,961		
貸付金			
損失補償・債務保証額			
出資金			

**4. 県の政策との関連性**

1 政策目標

■高規格幹線道路・地域高規格道路の整備による高速交通ネットワークの構築

観光の振興、企業立地の促進や物流の効率化には、地域間の時間短縮、定時制の確保やミッシングリンクの解消が課題。このため、地域の交流促進や連携強化に有効な高規格幹線道路や地域高規格道路など、規格の高い道路の重点的な整備を促進。

2 県との役割分担

県の役割	団体の役割
国庫補助事業等を活用して地域高規格道路などの整備を重点的に進める。	有料道路建設資金の財源に制約を受ける地方公共団体に代わり、民間資金を導入することにより緊急に道路整備を行う為の事業主体となり、その路線の料金を徴収し、維持管理を行い、建設費を償還する役割。
法人に委ねる理由	説明
<input type="checkbox"/> 県が直接実施するよりも効果的・効率的に事業実施可能	一般国道の有料道路管理者は、道路整備特別措置法第10条により地方道路公社とされる。
<input type="radio"/> 県が直接実施することが困難	
<input type="checkbox"/> その他	

3 事業実施状況					
事業名	事業概要	事業費(千円)	主な実績	事業の評価、今後の方向性	
1	川平有料道路	一般国道206号の西彼杵郡時津町井手園交差点と長崎バイパスの川平インターを結ぶ有料道路の維持管理。建設費の償還。	908,274	R1年度 償還準備金繰入損 483,985千円 損失補てん引当損 99,870千円 その他の費用 324,419千円 計 908,274千円	当該道路は長崎バイパスに連結し、時津町・長与町から長崎市内又は諫早方面及び長崎自動車道へ繋がるアクセス道路。維持管理に多額の費用を要するが、今後とも効率的・効果的に執行し、縮減に努める。また、一般国道206号の交通渋滞緩和の役割や長崎自動車道へ繋がる優位性を活かし通行台数の増加を図っていく。
2	西海パールライン有料道路	長崎市と佐世保市を結ぶ西彼杵道路の一部である有料道路(地域高規格道路)の維持管理。建設費の償還。	514,679	R1年度 償還準備金繰入損 236,148千円 損失補てん引当損 45,364千円 その他の費用 233,167千円 計 514,679千円	H25年3月に小迎バイパス(大串～小迎)が開通し、指方バイパスから西海パールライン有料道路を経由し、小迎バイパスまでの自動車専用道路区間は約14kmとなった。その結果、一般国道(202号)と比較し、走行時間短縮効果は10分程度となり西海パールライン有料道路の価値が向上した。 今後とも、効率的・効果的な維持管理を行い、沿線のピュースポットを活かし通行台数の増加を図る。
3	ながさき出島道路	長崎市内と高速道路の長崎インターを結ぶ有料道路の維持管理。建設費の償還。	382,131	R1年度 損失補てん引当損 28,958千円 その他の費用 353,173千円 計 382,131千円	長崎市中心部と長崎自動車道を直結する道路として、観光及び経済活動動脈の一部となっている。 長崎自動車道(長崎IC～芒塚IC)は4車線化の工事中。暫定2車線は交通事故対策が大きな課題であったが開通後は交通事故による通行止めが減少し定時性の確保が期待される。また、連結する出島道路にもプラス効果が見込まれる。
4	ながさき女神大橋道路	長崎港で分断された長崎市南部と西部を結ぶ有料道路(愛称:ヴィーナスウイング)の維持管理。建設費の償還。	320,236	R1年度 損失補てん引当損 28,023千円 その他の費用 292,213千円 計 320,236千円	長崎市南部と西部を最短距離で結ぶことで市中心部の慢性的な渋滞対策の役割を担っている。現時点は償還が進んでいるが、将来的には橋梁の塗装塗替等、維持費の増加が見込まれる。


【共通】

5. 中期経営計画等の進捗状況・事業目標の達成状況										◎ 達成	○ 一部達成	× 未達成	— 未実施
No.	項目名	R1 実績	計画上の目標値				最終年度 (R10)	達成状況					
			H28	H29	H30	R1			R2				
①	川平有料道路 料金収入(単位:千円)	907,124	906,435	906,481	906,481	917,280	927,687	231,286	×				
	(目標値設定の根拠・考え方)												
① 経営改善計画(令和2年3月改定)における料金収入 (翌年度に向けての改善事項等) R1実績収入は、新型コロナウイルス感染症の影響により目標値の約98.9%。R2年度は当初予算で計上した安全対策関連を除く工事・委託等の一部を次年度以降に先送りする等の対応をとり支出額を抑制。													
No.	項目名	R1 実績	計画上の目標値				最終年度 (R10)	達成状況					
			H28	H29	H30	R1			R2				
②	西海パールライン有料道路 料金収入(単位:千円)	494,346	497,596	508,542	508,542	508,230	513,884	539,226	×				
	(目標値設定の根拠・考え方)												
② 経営改善計画(令和2年3月改定)における料金収入 (翌年度に向けての改善事項等) R1実績収入は、新型コロナウイルス感染症の影響により目標値の約97.3%。R2年度は当初予算で計上した安全対策関連を除く工事・委託等の一部を次年度以降に先送りする等の対応をとり支出額を抑制。													
No.	項目名	R1 実績	計画上の目標値				最終年度 (R10)	達成状況					
			H28	H29	H30	R1			R2				
③	ながさき出島道路 料金収入(単位:千円)	315,662	292,119	293,579	293,579	304,742	305,177	300,996	◎				
	(目標値設定の根拠・考え方)												
③ 経営改善計画(令和2年3月改定)における料金収入 (翌年度に向けての改善事項等) R1実績収入は、新型コロナウイルス感染症の影響があったものの目標値を上回り約103.6%で着地。R2年度は当初予算で計上した安全対策関連を除く工事・委託等の一部を次年度以降に先送りする等の対応をとり支出額を抑制。													
No.	項目名	R1 実績	計画上の目標値				最終年度 (R17)	達成状況					
			H28	H29	H30	R1			R2				
④	ながさき女神大橋道路 料金収入(単位:千円)	305,425	307,013	308,487	308,487	314,825	315,433	220,371	×				
	(目標値設定の根拠・考え方)												
④ 経営改善計画(令和2年3月改定)における料金収入 (翌年度に向けての改善事項等) R1実績収入は、新型コロナウイルス感染症の影響により目標値の約97.0%。R2年度は当初予算で計上した安全対策関連を除く工事・委託等の一部を次年度以降に先送りする等の対応をとり支出額を抑制。新規回数券販売委託先を開拓。													
No.	項目名	R1 実績	H29	H30	R1	備考							
			H28	H29	H30	R1	R2	最終年度 (R10)	達成状況				
①	川平有料道路各年度事業計画(当初予算料金収入)との比較	(計画)	902,002千円	917,589千円	902,415千円	R1計画比 100.5%							
		(実績)	913,880千円	906,872千円	907,124千円								
②	西海パールライン有料道路各年度事業計画(当初予算料金収入)との比較	(計画)	503,600千円	493,740千円	499,042千円	R1計画比 99.1%							
		(実績)	494,562千円	502,575千円	494,346千円								
③	ながさき出島各年度事業計画(当初予算料金収入)との比較	(計画)	302,836千円	280,465千円	300,446千円	R1計画比 105.1%							
		(実績)	298,603千円	304,308千円	315,662千円								
④	ながさき女神大橋道路各年度事業計画(当初予算料金収入)との比較	(計画)	297,467千円	314,965千円	318,407千円	R1計画比 95.9%							
		(実績)	305,756千円	314,217千円	305,425千円								
<b>(県が期待する効果の実現)</b>													
評価結果					評価理由								
○	十分実現している				・一部路線において、料金徴収期間終了時に未償還額が発生する可能性が高いが、その場合は公社全体の損失補てん引当金で補填が可能である。 ・道路の施設についても、良好な状態で料金徴収期間満了後、長崎県へ引き継ぐことができる。								
	概ね実現しているが未実現の部分がある												
	実現できていない												
<b>(計画達成状況の判定)</b>													
判定項目			評価基準						点数				
①	中期経営計画の策定		[2点]中期経営計画(計画期間3年以上)を策定している						2				
②	中期経営計画の目標達成		[1点]目標を1項目達成		[2点]2項目以上達成				1				
③	事業目標の達成		[1点]事業目標を1項目達成		[2点]2項目以上達成				2				
④	県が期待する効果の実現		[1点]効果を概ね実現している		[2点]十分実現している				2				
合計								7					

6. 財務の状況 (単位:千円、%)							
項 目	H29		H30		R1		対前年度比
	金額	対前年度比	金額	対前年度比	金額	対前年度比	
<b>【貸借対照表】</b>							
流動資産(A)	1,062,903	140.75	1,274,915	119.95	1,641,608	128.76	
うち金銭債権額	1,062,903	140.75	1,274,915	119.95	1,641,608	128.76	
うちたな卸資産		-		-		-	
固定資産	25,809,022	99.51	25,697,511	99.57	25,731,372	100.13	
繰延資産		-		-		-	
資産合計(B)	26,871,925	100.67	26,972,426	100.4	27,372,980	101.5	
流動負債(C)	1,098,752	83.76	860,277	78.30	514,123	59.76	
うち短期借入金	628,013	73.24	480,424	76.50	113,794	23.69	
うち県借入額		-		-		-	
固定負債	18,878,173	102.12	19,217,149	101.80	19,963,857	103.89	
うち長期借入金	927,551	59.63	447,127	48.21	333,333	74.55	
うち県借入額		-		-		-	
うち退職給付引当金	31,056	112.60	32,774	105.53	34,324	104.73	
負債合計	19,976,925	71.13	20,077,426	100.50	20,477,980	102.00	
株主資本	6,895,000	100.00	6,895,000	100.00	6,895,000	100.00	
その他		-		-		-	
利益剰余金		-		-		-	
純資産又は資本合計(D)	6,895,000	100.00	6,895,000	100.00	6,895,000	100.00	
団体債務保証額		-		-		-	
県債務保証又は損失補償額	1,555,564	64.46	927,551	59.63	447,127	48.21	
<b>【損益計算書】</b>							
売上高(E)	2,384,337	109.97	2,054,714	86.18	2,059,319	100.22	
うち県財政負担額(F)	368,158	245.05	23,393	6.35	33,961	145.18	
売上原価	2,209,818	109.52	2,023,407	91.56	1,968,798	97.30	
うち人件費(G)	4,522	46.92	4,600	101.72	4,563	99.20	
販売費及び一般管理費	164,513	122.23	140,833	85.61	151,975	107.91	
うち人件費(H)	53,075	99.56	51,822	97.64	52,573	101.45	
営業損益	10,006	63.46	-109,526	-109.40	-61,454	-56.11	
営業外収益(I)	1,774	101.49	1,670	94.14	2,606	156.05	
うち県財政負担額(J)	995	85.85	1,010	101.51	1,016	100.59	
営業外費用	11,780	69.79	5,520	46.86	4,548	82.39	
経常損益(K)	0	0.00	-113,376	-	-63,396	-55.92	
特別損益		0.00	113,376	-	63,396	55.92	
税引前当期純損益	0	-	0	-	0	-	
法人税等		-		-		-	
当期純損益(L)	0	-	0	-	0	-	
準備金等計上前当期純損益	1,017,312	118.74	931,191	91.53	922,348	99.05	
(会計方針の変更による影響額)							
<b>【事業(セグメント)別】</b>							
	売上高	経常損益	当期純損益	準備金計上前当期純損益			
川平有料道路	907,300			583,855			
西海パールライン有料道路	513,548			281,512			
ながさき出島道路	332,767	-49,197		28,958			
ながさき女神大橋道路	305,704	-14,199		28,023			
<b>各財務数値の増減理由及び各種引当金の設定状況等</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・流動資産中の金銭債権の増加は、借入金の返済が進んだことで現預金が積上げできるようになったため。なお積上げた現預金で無料化の際、出資金を返済することとなる。</li> <li>・運営資金を完済し借入金残高及び当該残高に対する県債務保証額は大幅に減。</li> <li>・営業外収入の増は、大村湾ZEKKEIライドで西海パールラインを使用させた際の損失補償金の受領等。</li> <li>・営業外費用の減は、支払利息の減による。</li> <li>・特別損益の減は、ながさき女神大橋道路の償還準備金取崩額の減による。</li> </ul>							
<b>6. 財務の状況</b>							
「財務の状況」判定項目	H29	H30		R1			点数
	数値・比率	数値・比率	対前年度比	数値・比率	対前年度比	対前々年度比	
① 経常損益率(K/E)	0.00	-5.52		-3.08	55.79		0.0
② 当期純損益率(L/E)	0.00	0.00		0.00			0.0
③ 純資産又は資本合計比率(D/B)	25.66	25.56	99.63	25.19	98.54	98.17	0.0
④ 流動比率(A/C)	96.74	148.20	153.20	319.30	215.46	330.07	0.0
⑤ 県財政負担率((F+J)/(E+I))	15.47	1.19	7.67	1.70	142.95	10.96	-1.0
⑥ 人件費比率((G+H)/E)	2.42	2.75	113.67	2.77	101.04	114.86	-1.0
合計							-2.0

※判定項目ごとに評価基準に基づき採点

【共通】

7. 経営内容及び事業活動についての総合判定			
(団体の自己評価)			
「計画達成状況」「財務状況」の合計点数	5.0		総合判定 A
5点以上:A 概ね良好	-4点以上5点未満:B 改善の余地あり	-4点未満:C 一層の努力が必要	
※事業活動・経営内容の評価・今後の課題及び改善事項等			
<p>R元年度は、長期借入金のうち運営資金の返済が完了し、今後は出資金返済へ向けた現預金の確保を進める予定である。</p> <p>将来的に料金徴収期間が満了し無料化する際、償還準備金が不足する場合には、損失補てん引当金を活用するよう、R2年3月には経営改善計画書(第5回改訂)を作成し、利用促進・経費節減に努めている。</p> <p>直近では、新型コロナウイルス感染症による通行減少が直撃しており、R2年度は2.5～3.5億円程度の減収を見込んでいる。車両通行量は、R2年4月～5月をボトムにその後の戻りは緩やかであったものの、R2.9月～10月は回復傾向が強まっている状況にはある。道路公社としても、当初予算で計上した安全対策関連を除く工事・委託等の一部を次年度以降に先送りするなどの対策を講じている。</p> <p>なお、この規模の減収が続いても資金不足に陥り新たな借入が必要になるようなことはないが、償還期間満了時の出資金返済に影響を及ぼすことがないよう、引き続き注視していく。</p>			
(県の評価)			
合計点数	5.0	※評価の内容、県評価での加点・減点、総合判定の理由	
総合判定	A	<p>プロパー職員の定年退職後の不補充及び再任用により、人件費の抑制に取り組んでいる。また、長期借入金の返済は計画どおり進んでいる。将来的に、料金徴収期間が満了し無料化する際、償還準備金が不足する場合には、損失補てん引当金を活用するよう、R2年3月には経営改善計画書(第5回改訂)を作成し、利用促進・経費縮減に取り組んでいる。</p> <p>新型コロナウイルス感染症による減収が懸念されるが、直ちに資金不足に陥る状況にはなく、現状では経営は健全である。</p>	
(今後の県の関与の方針)			
<p>有料道路の建設、維持管理及び料金徴収については長崎県道路公社にて行うこととなっており、また、料金徴収期間が満了し無料化する際には県への出資金を返還する必要があることから健全な法人経営が求められる。</p> <p>このため、経営状況等についての情報公開による透明性の確保やチェック機能の向上を図るとともに、利用促進や経費節減の取組によって健全な経営状況が行われるよう指導監督を行っていく。</p>			